

## 乳製品需給等情報交換会議概要

日時：平成 29 年 12 月 1 日（金）13:30～14:30

場所：（独）農畜産業振興機構 北館 6 階会議

主な意見：

（東宗谷農業協同組合）

台風の影響を心配していたが、思ったよりも影響はないようだ。生産は 9 月から対前年プラスとなり、今は順調。若い牛が増えてきている等、生産基盤強化の成果も見られていると思う。

（卸売業者）

家庭用バターについては、在庫は十分あり、年内分は問題ない。業務用については、総量は十分足りている。ユーザーは国産バターの価格に敏感なため、今後の乳価交渉の行方を注視している。

（新日本スーパーマーケット協会）

スーパーでの欠品はなく、十分な供給が出来ている。消費者からのクレームもない。需給は問題ないと思う。

（日本洋菓子協会連合会、全国菓子工業組合連合会、全日本洋菓子工業会、日本パン工業会）

- ・ 特に懸念していることはない。
- ・ バター需給は安定していると会員からは聞いている。
- ・ 会員からの不満の声も聞かない。安心している。
- ・ 国産バターに対する需要が強く、安定供給と販売価格の安定に対する要望が強い。

（J ミルク）

10 月の生乳生産量は、9 月に J ミルクが公表した需給見通しよりも上回っており、脱脂粉乳・バター向け生乳が増加している。

（日本乳業協会）

需要期に向け、冷凍ポンドの在庫を積み上げて来ており、11 月及び 12 月分の在庫は十分にある。10 月後半から 12 月初めまで、乳業メーカーは、家庭用バターの生産に注力していく。

（以 上）